

# シンポジウム「津波から人命を守る」

甚大な被害が発生した東日本大震災から3年が経ちました。

2012年3月に警察庁が発表した犠牲者の死因は、圧死・焼死・不詳合わせて1,478人(9.36%)であるのに対して、水死は14,308人(90.64%)と圧倒的な数字となっており、津波による犠牲者がいかに多かったかが分かります。

津波による人的被害は「正確な知識」と「適確な行動」があれば、かなりの減災が可能ではないでしょうか。

阪神・淡路まちづくり支援機構と近畿不動産鑑定士協会連合会との共催により、今後予想される南海トラフ大地震がもたらす津波災害に焦点を絞って、津波災害の第一人者である河田教授をお招きして「津波から人命を守る」と題してシンポジウムを下記のとおり開催いたします。

多数の皆様方のご参加をお待ちしております。

## 第一部

**津波想定区域における地価の状況**(和歌山・徳島・高知視察に基づく報告)

近畿不動産鑑定士協会連合会 危機管理対応委員会

## 第二部

**講演「津波想定 of 最新情報とその影響・対策」**

人と防災未来センター長 関西大学教授 河田 恵昭氏

## 第三部

**パネルディスカッション「いかにして津波から人命を守るか」**

パネリスト: 人と防災未来センター長 関西大学教授 河田 恵昭氏

高知県危機管理部 副部長 酒井 浩一氏

和歌山県串本町 総務課副課長 濱地 弘貴氏

関西広域連合 広域防災局 防災計画参事 藤森 龍氏

コーディネーター: 阪神・淡路まちづくり支援機構 事務局長 弁護士 津久井 進氏

参加無料  
(要予約)

日時

平成26年4月26日(土)13時半～17時半

場所

兵庫県立美術館ミュージアムホール

神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1(078-262-0901) JR「灘」駅 南方徒歩約10分 定員250名

主催

近畿不動産鑑定士協会連合会 阪神・淡路まちづくり支援機構(共催)

後援

関西広域連合 兵庫県 高知県 串本町 四国不動産鑑定士協会連合会

協力

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

問い合わせ先

近畿不動産鑑定士協会連合会 TEL:06-6203-7588 FAX:06-6203-4557 ご予約は裏面ご参照